

表4-3-1 県計、属性別にみた重点振興方策集計表

	県計				性別加重平均		年齢階級別加重平均							地域別加重平均					
	1位	2位	3位	加重平均	男	女	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
食糧供給基地の形成	17.5	4.8	5.5	11.3	11.2	11.3	8.3	5.9	10.1	11.5	15.6	13.9	14.5	13.3	10.7	9.1	12.4	17.4	15.1
石油、天然ガスなどのエネルギー開発	2.8	1.8	1.5	2.3	2.6	1.9	1.5	2.9	1.9	1.3	3.6	2.5	1.6	2.4	2.6	2.1	1.9	2.0	0.5
物流中継加工拠点の形成	3.4	3.9	2.5	3.4	4.8	2.1	2.8	1.8	3.0	4.2	4.3	4.0	3.1	2.3	3.5	3.9	3.1	6.3	1.5
海洋開発	8.7	8.2	4.9	7.9	10.1	5.8	2.8	5.9	8.5	9.8	8.7	7.0	7.3	9.2	6.6	9.9	7.6	6.3	8.5
国際交流	4.5	3.6	3.2	4.0	3.3	4.6	10.5	4.8	3.1	3.3	3.3	4.9	2.4	3.5	3.7	4.5	5.0	3.0	2.1
離島・過疎地域の振興	5.3	7.1	4.6	5.8	5.4	6.1	7.5	4.5	6.4	6.9	5.0	4.7	5.5	4.9	4.0	5.5	7.0	17.2	10.5
最新鋭工場の誘致	1.4	3.0	1.3	1.9	2.6	1.2	0.0	1.5	2.6	2.5	1.3	1.5	1.8	1.9	2.3	1.3	2.5	2.3	0.0
米軍基地の返還、跡地利用	17.9	11.6	8.2	14.2	13.5	15.0	14.1	17.3	15.9	13.4	12.1	14.1	8.6	11.9	16.7	14.3	13.2	6.1	6.5
観光保養基地の形成	3.3	6.1	3.6	4.3	4.4	4.1	3.2	5.3	4.9	4.0	4.2	3.4	4.3	4.8	3.6	5.9	3.6	3.0	4.9
大学、研究機関の整備充実	1.5	3.8	2.4	2.4	2.3	2.6	7.1	2.5	2.3	2.5	1.7	2.5	0.8	3.0	2.3	2.8	2.2	1.0	3.4
県内資源を活用する新規工業の開発	4.8	6.6	6.7	5.7	5.5	6.1	3.2	5.3	6.3	4.9	5.6	7.6	6.1	6.2	6.4	5.4	5.7	2.8	3.1
人的資源の開発、育成	2.9	4.0	4.6	3.6	4.0	3.2	3.2	3.2	4.2	3.7	3.8	3.1	2.4	4.0	4.2	3.8	2.3	1.5	2.3
太陽熱、風力、波力などの代替エネルギーの開発	4.3	6.4	9.9	5.9	6.2	5.7	4.3	9.1	6.0	6.1	5.6	3.6	5.1	6.7	5.8	5.8	5.6	6.3	7.7
交通網の整備	8.2	11.8	12.2	10.1	9.4	10.8	12.2	14.5	11.8	10.4	6.9	6.4	5.5	6.7	11.0	10.7	11.8	4.5	3.6
航空ネットワークの整備	1.9	3.6	5.4	3.1	3.1	3.0	2.1	3.3	3.0	3.5	3.3	1.9	4.1	1.3	2.4	3.8	2.7	5.1	8.7
海上交通の整備	0.2	1.0	2.8	0.9	1.3	0.6	1.1	1.4	1.1	0.8	0.8	0.8	0.0	1.5	0.9	0.7	0.5	1.3	2.6
情報通信網の整備充実	0.6	1.6	4.3	1.6	1.6	1.4	1.3	2.9	1.6	1.0	1.3	1.2	1.0	1.3	1.4	1.8	1.7	0.8	1.3
その他	0.5	0.1	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.7	0.3	0.6	0.5	0.0	0.0	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	1.0
わからない	5.0	0.6	4.4	3.4	2.1	4.7	5.4	2.8	1.8	2.4	4.2	5.5	9.4	2.2	2.2	3.8	5.2	5.1	7.7
無回答	5.2	10.4	11.3	8.0	6.2	9.5	9.2	4.5	5.2	7.6	8.6	11.6	16.7	12.9	9.5	4.9	5.6	7.8	9.2

4 雇用対策

(1) 順位別にみた雇用対策

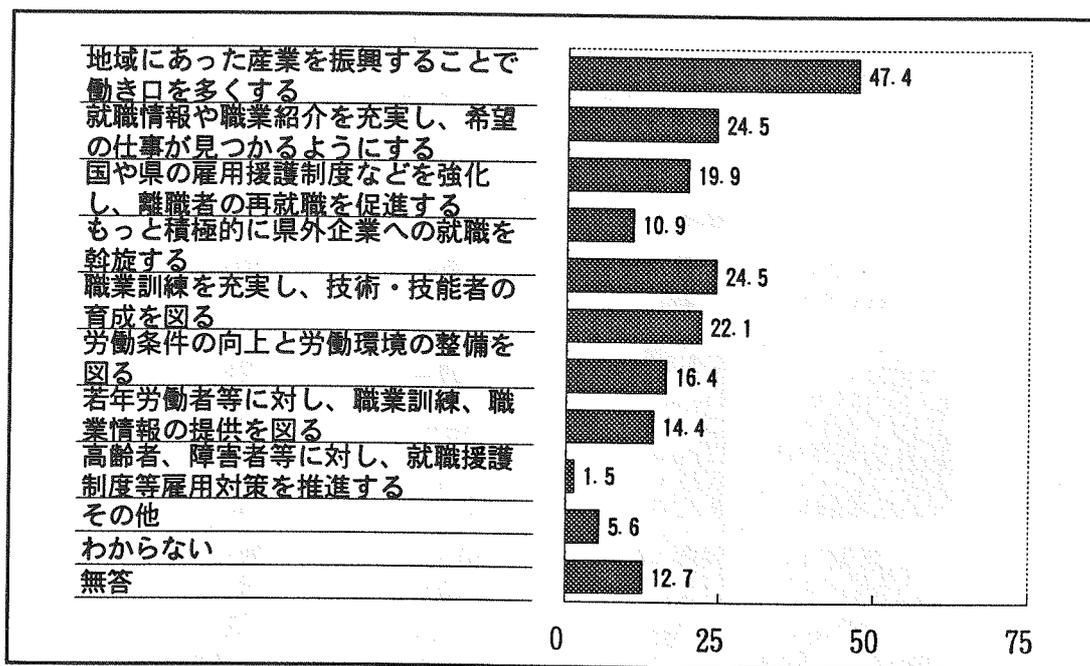
本県における雇用対策として適切と思われるものを、9つの選択肢のなかから2つ選んでもらった(問12)。

回答結果は図4-4-1のとおりで、「地域にあった産業の振興」を挙げる割合が47.4%と最も高く、以下、「就職情報や職業紹介の充実」「技術・技能者の育成」が24.5%、「労働条件の向上と労働環境の整備」が22.1%と続いている。

「地域にあった産業の振興」の回答割合は、他の2倍近くにのぼり、県民の意識の上でも、産業の振興による雇用の場の創出が、最も重要であると認識されていることが分る。また、2番目に回答割合の高かった「就職情報や職業紹介の充実」についても、自分の希望にあった仕事が見つかることに対するニーズが高いものと思われ、多様な職業選択の可能性の確保を図る必要がある。

一方、最も回答割合が低かったのは、「県外企業への就職の斡旋」で、10.9%となっており、県民の県内志向が現れているものといえよう。

図4-4-1 順位別にみた雇用対策



(2) 男女別、年齢階層別、地域別にみた雇用対策

次に、雇用対策を男女別、年齢階層別、地域別にみると（図4-4-2）、男女別では、「地域にあった産業の振興」「県外企業への就職の斡旋」「技術・技能者の育成」などの回答割合は男性の方が高くなっており、特に、「地域にあった産業の振興」で差が大きく、男性が4.9ポイント上回っている。逆に、女性の方が高くなっているのは、「就職情報や職業紹介の充実」「若年労働者、女子労働者に対する職業訓練と情報の提供」「高齢者、障害者等への雇用対策」等であり、特に、「若年労働者、女子労働者に対する職業訓練と情報の提供」で5.3ポイント、「就職情報や職業紹介の充実」で5.2ポイント女性の方が上回っているが、これは、女性の就業機会が相対的に低いことなどを反映しているものと考えられる。

また、年齢階層別にみると、「地域にあった産業の振興」は年齢が上がるにつれて回答割合が高くなっており、逆に、若年層ほど回答割合が高いのは「就職情報や職業紹介の充実」となっている。また、「若年労働者、女子労働者に対する職業訓練と情報の提供」に対する回答割合は、20～40歳代で高くなっており、「高齢者、障害者等への雇用対策」については、15～19歳と60歳代以上で高くなっている。

一方、地域別にみると、「地域にあった産業の振興」に対する回答割合は、北部と宮古、八重山地

域で高くなっている。また、「離職者の再就職の促進」については、中部と那覇市が、「県外企業への就職の斡旋」については、那覇市が高くなっている。さらに、「若年労働者、女子労働者に対する職業訓練と情報の提供」に対する回答割合は北部地域が高くなっており、「高齢者、障害者等への雇用対策」については、宮古、八重山地域が高くなっている。

図4-4-2 男女別、年齢階層別、地域別にみた雇用対策

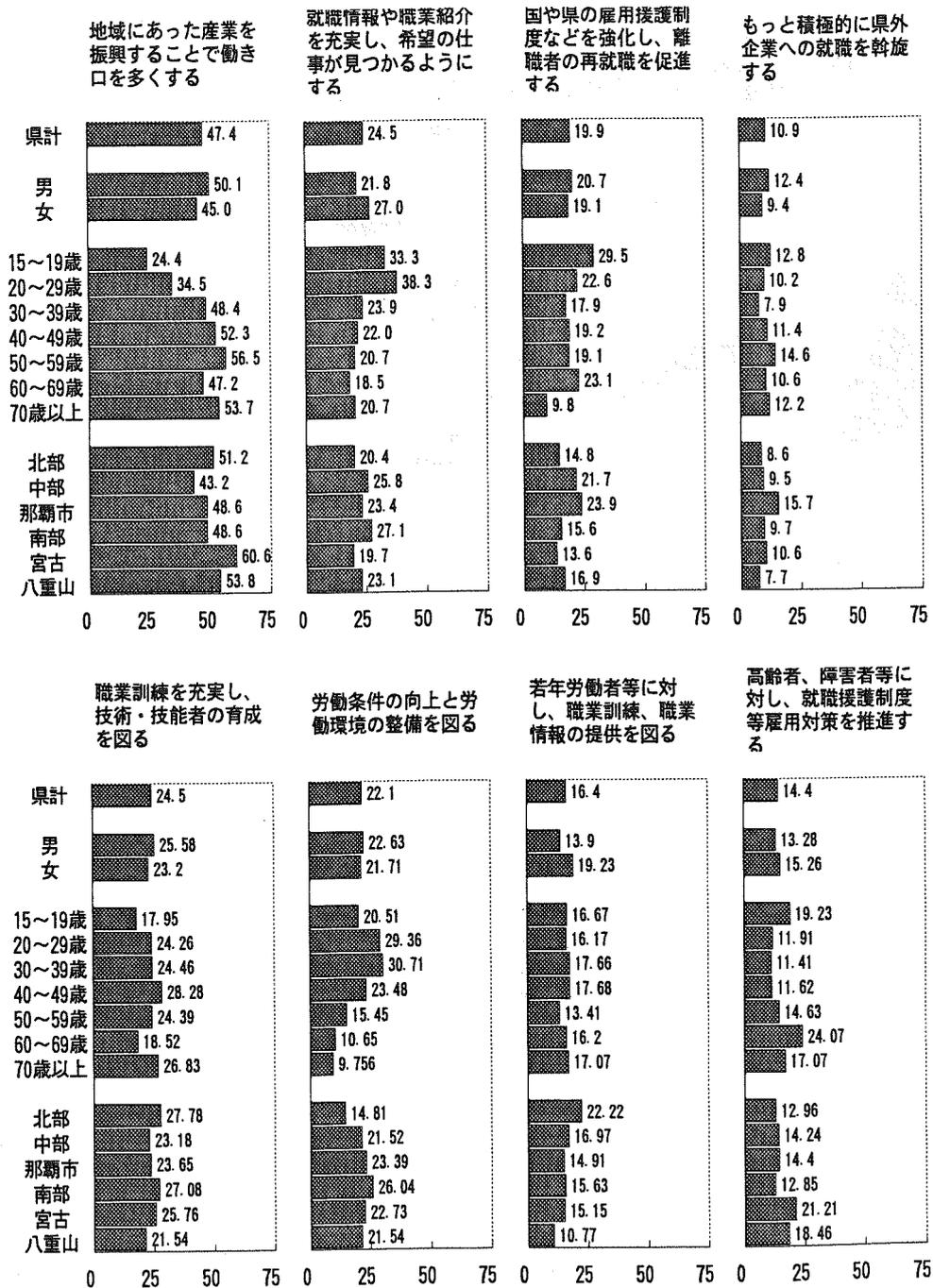


表4-4-1 県計、属性別にみた雇用対策の集計表

	県計	性別		年齢階級別							地域別					
		男	女	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
地域にあった産業を振興することで働き口を多くする	47.4	50.1	45.0	24.4	34.5	48.4	52.3	56.5	47.2	53.7	51.2	43.2	48.6	48.6	60.6	53.8
就職情報や職業紹介を充実し、希望の仕事が見つかるようにする	24.5	21.8	27.0	33.3	38.3	23.9	22.0	20.7	18.5	20.7	20.4	25.8	23.4	27.1	19.7	23.1
国や県の雇用支援制度などを強化し、離職者の再就職を促進する	19.9	20.7	19.1	29.5	22.6	17.9	19.2	19.1	23.1	9.8	14.8	21.7	23.9	15.6	13.6	16.9
もっと積極的に県外企業への就職を斡旋する	10.9	12.4	9.4	12.8	10.2	7.9	11.4	14.6	10.6	12.2	8.6	9.5	15.7	9.7	10.6	7.7
職業訓練を充実し、技術・技能者の育成を図る	24.5	25.6	23.2	17.9	24.3	24.5	28.3	24.4	18.5	26.8	27.8	23.2	23.7	27.1	25.8	21.5
労働条件の向上と労働環境の整備を図る	22.1	22.6	21.7	20.5	29.4	30.7	23.5	15.4	10.6	9.8	14.8	21.5	23.4	26.0	22.7	21.5
若年労働者等に対し、職業訓練、職業情報の提供を図る	16.4	13.9	19.2	16.7	16.2	17.7	17.7	13.4	16.2	17.1	22.2	17.0	14.9	15.6	15.2	10.8
高齢者、障害者等に対し、就職支援制度等雇用対策を推進する	14.4	13.3	15.3	19.2	11.9	11.4	11.6	14.6	24.1	17.1	13.0	14.2	14.4	12.8	21.2	18.5
その他	1.5	2.0	1.0	0.0	2.6	1.6	2.0	0.8	0.9	0.0	0.6	1.1	1.0	3.8	0.0	1.5
わからない	5.6	4.8	6.5	10.3	4.7	5.7	3.5	6.1	6.5	11.0	6.8	4.8	4.4	7.3	4.5	12.3
無答	12.7	12.9	12.5	15.4	5.5	10.3	8.6	14.2	23.6	22.0	19.8	18.0	6.7	6.3	6.1	12.3

5 県土の利用について

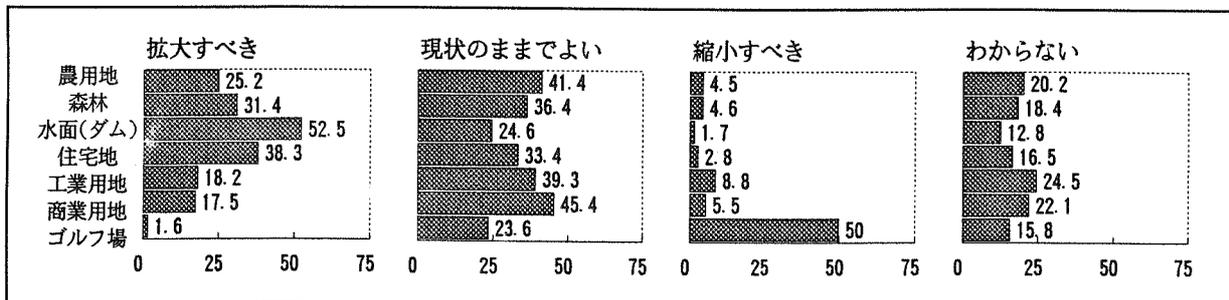
(1) 県計でみた県土利用

将来の県土利用に対する考え方について、現状の土地利用データを示した上で、利用区分ごとに尋ねた（問13）。

7種の土地用途のうち、「拡大すべき」という意見が「現状のままでよい」を上回ったものは「水面(ダムなど)」、「住宅地」のみであり、県民の「安定した水の供給」を望む意識や、住宅を所有するのが困難になりつつある昨今の状況を反映しているものと思われる（図4-5-1）。

一方、「ゴルフ場」に関しては、「縮小すべき」とする意見が半数を占めており、他の利用区分とは大きく異なる結果となっている。

図4-5-1 県計でみた県土利用



(2) 男女別、年齢階層別、地域別にみた県土利用

次に、県土利用に対する意識を男女別、年齢階層別、地域別にみると（図4-5-2）、男女別では、女性はすべての項目において「わからない」と答える割合が男性よりも高く、判断を保留する傾向がみられる。そのため、それぞれの意見で女性の割合は男性を下回っているものの、傾向そのものは男性と同様であると思われる。

また、年齢階層別にみると、全体的に年齢層があがるにつれて無回答者や、「わからない」と答える者の割合が高くなる傾向がみられる。そこで、「拡大派」「現状維持派」「縮小派」の相対的な強さを測るため、「現状のままでよい」という意見を基準にみることにする。

「農用地」「森林」と「工業用地」「商業用地」では、現状維持派が拡大派を上回っているが、前者は中年層で、後者では若い年齢層ほど現状維持派の割合が高くなっている。また、「水面(ダム等)」では水不足生活の体験が相対的に多いと考えられる高年齢層ほど、「拡大すべき」という意見が「現状のままでよい」を上回る割合が高くなっている。

一方、地域別にみると、都市部(那覇市)で最も「拡大すべき」とする意見が多く、周辺に離れるほどその割合が低くなる利用区分には、「住宅地」、「水面(ダムなど)」等があり、過密化の度合いや、断水の影響の出やすさなどが作用しているものと思われる。また、「商業用地」「工業用地」に対する「現状のままでよい」という意見でも、同様の傾向がみられるが、「八重山」については他地域と異なり、「那覇市」と同様の意識を示している。「那覇市」では都市の過密化等が影響していると考えられるが、「八重山」においては、自然環境の保全等の意識が影響しているものと考えられる。

図 4-5-2 男女別、年齢階層別、地域別にみた県土利用

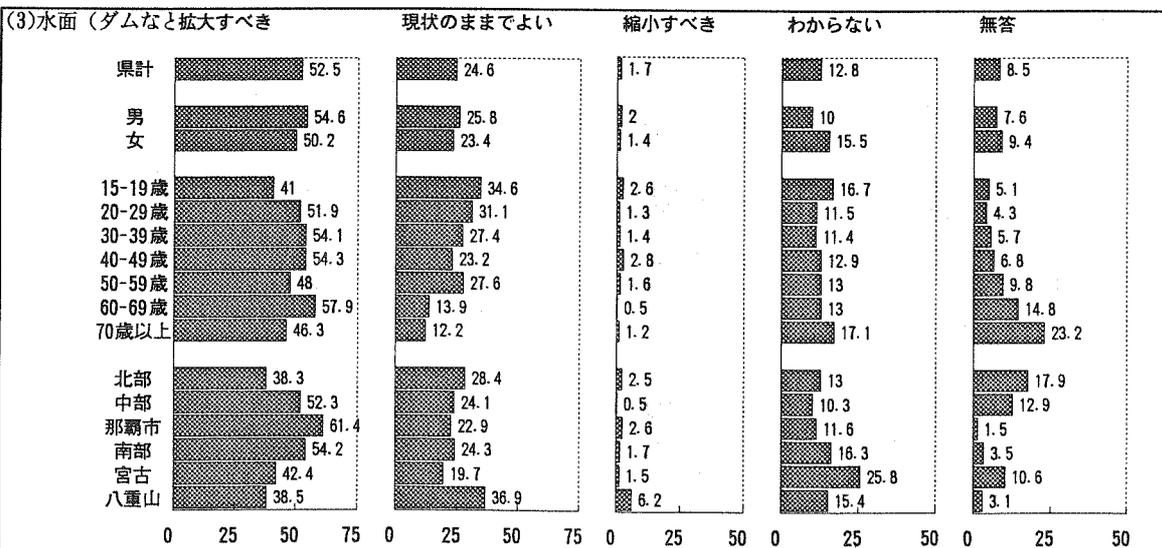
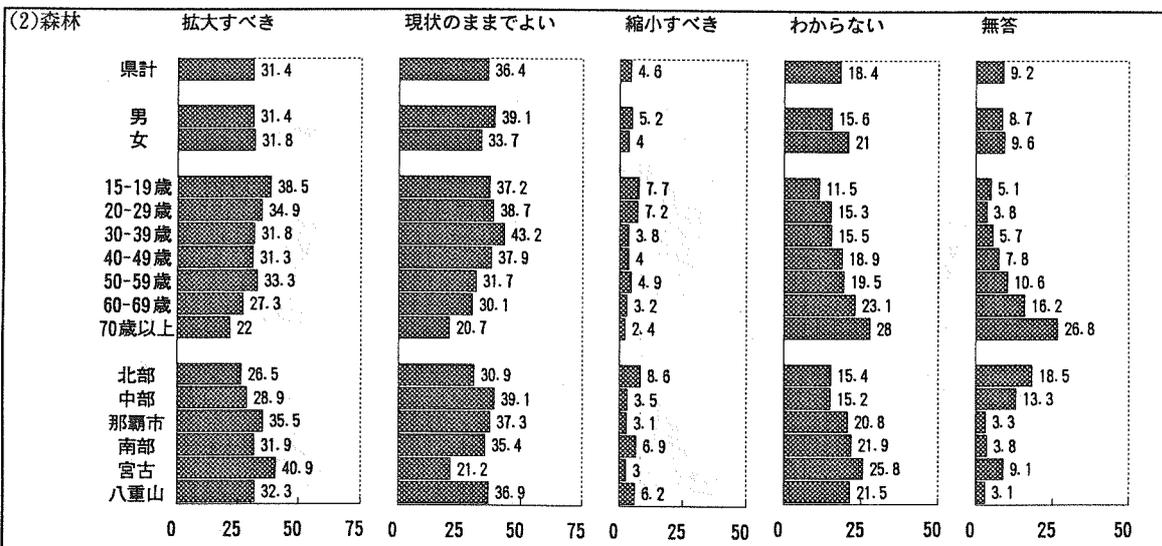
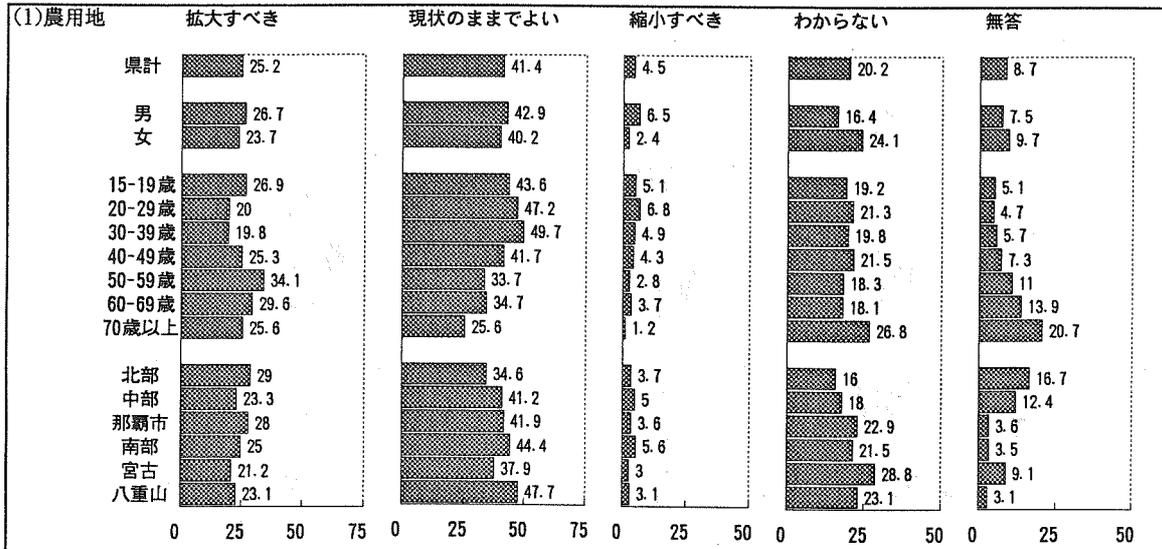


図4-5-2 男女別、年齢階層別、地域別にみた県土利用(続き)

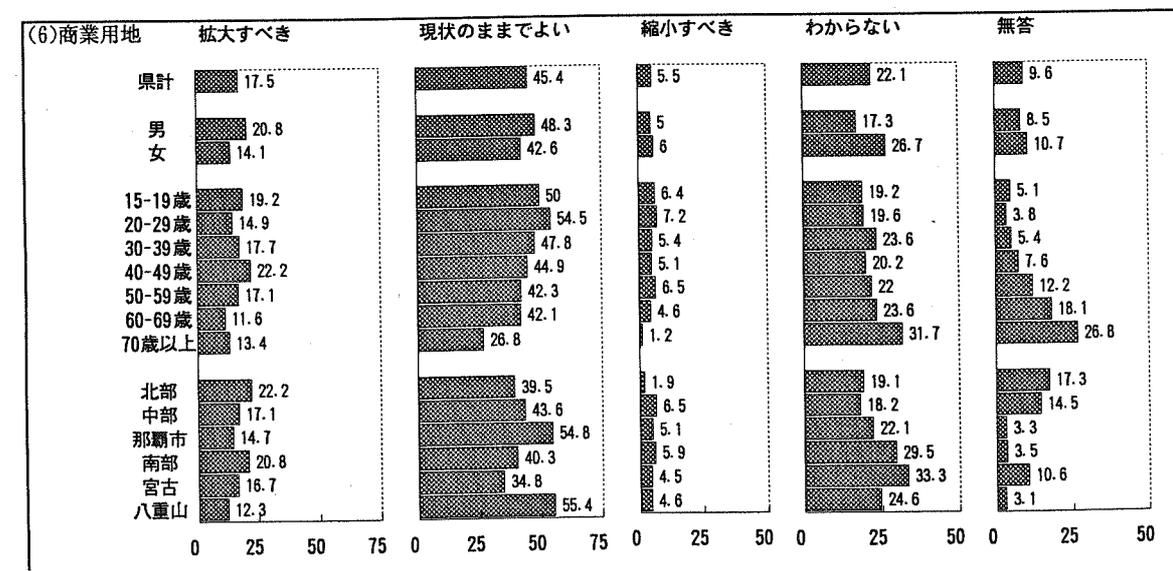
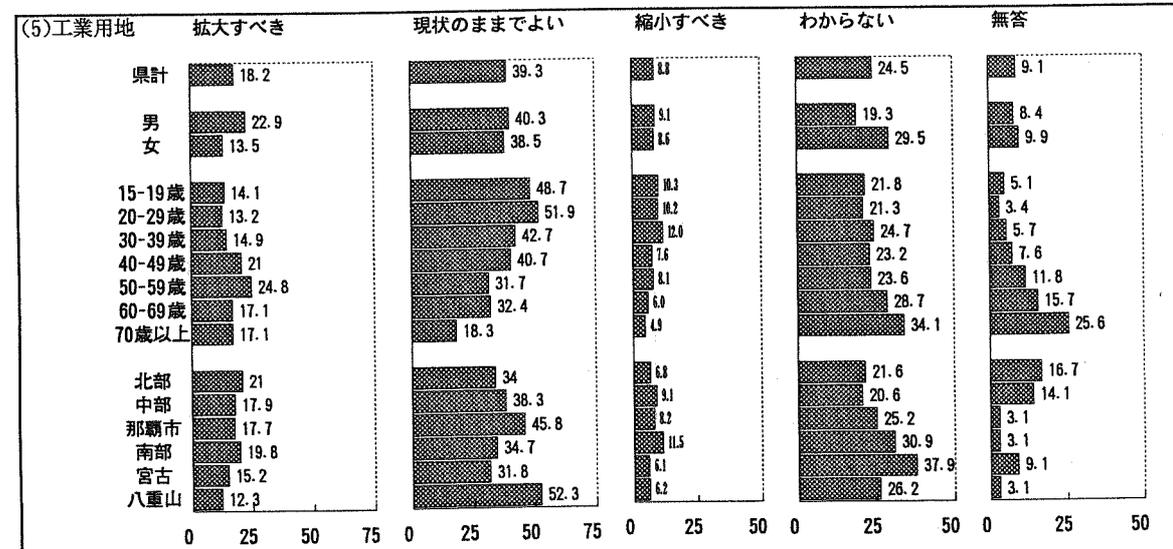
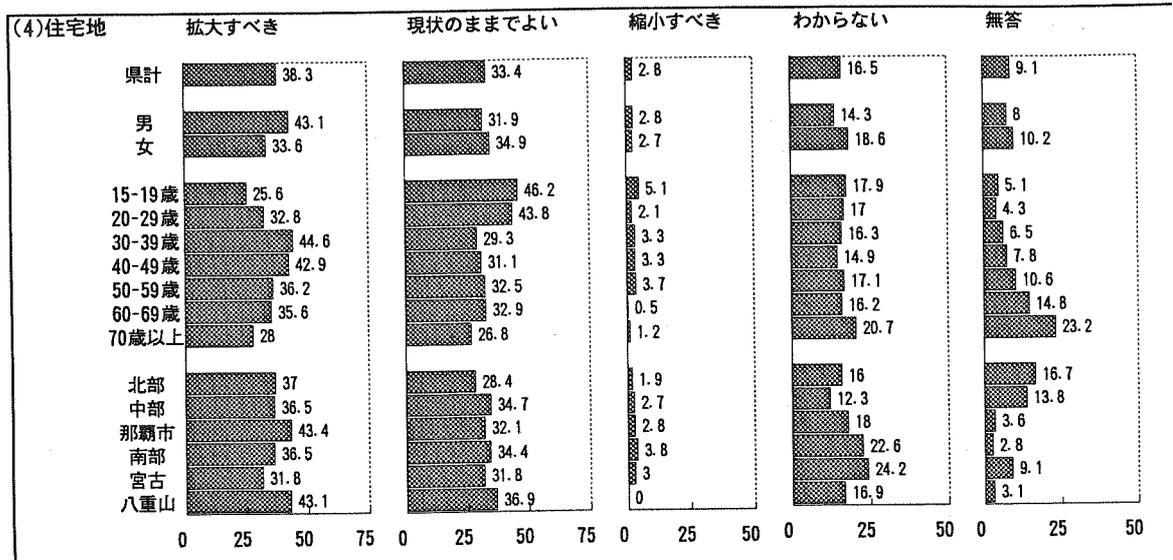


図 4-5-2 男女別、年齢階層別、地域別にみた県土利用（続き）

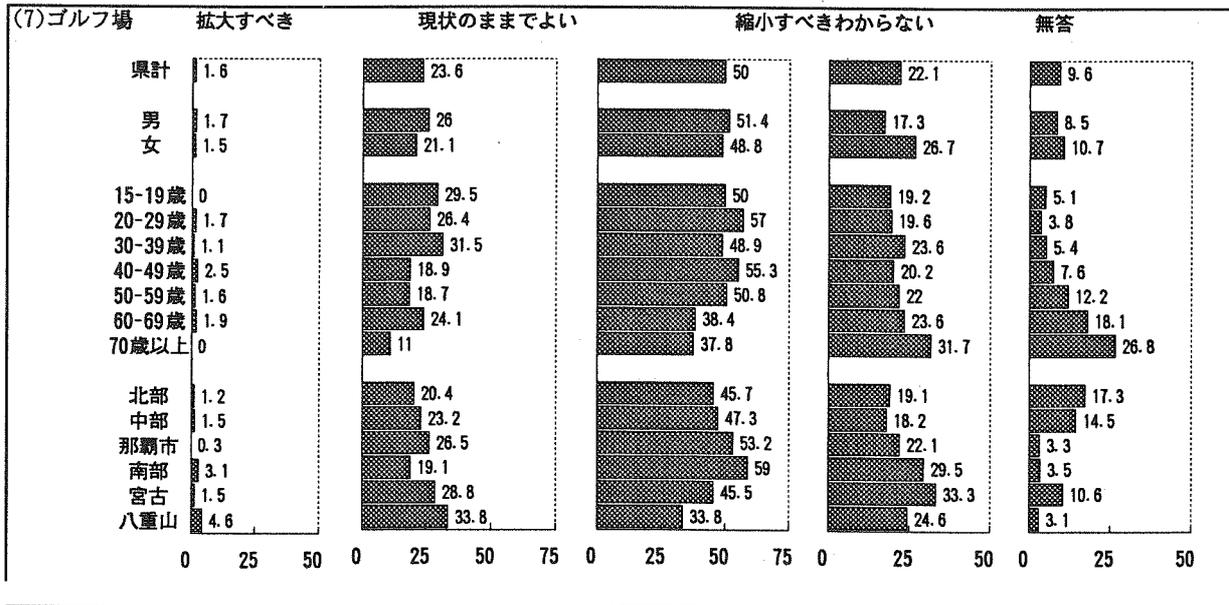


表 4-5-1 県計、属性別にみた県土利用の集計表

	県計	性別		年齢階級別							地域別					
		男	女	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
(1)農用地																
拡大すべき	25.2	26.7	23.7	26.9	20.0	19.8	25.3	34.1	29.6	25.6	29.0	23.3	28.0	25.0	21.2	23.1
現状のままでよい	41.4	42.9	40.2	43.6	47.2	49.7	41.7	33.7	34.7	25.6	34.6	41.2	41.9	44.4	37.9	47.7
縮小すべき	4.5	6.5	2.4	5.1	6.8	4.9	4.3	2.8	3.7	1.2	3.7	5.0	3.6	5.6	3.0	3.1
わからない	20.2	16.4	24.1	19.2	21.3	19.8	21.5	18.3	18.1	26.8	16.0	18.0	22.9	21.5	28.8	23.1
無答	8.7	7.5	9.7	5.1	4.7	5.7	7.3	11.0	13.9	20.7	16.7	12.4	3.6	3.5	9.1	3.1
(2)森林																
拡大すべき	31.4	31.4	31.8	38.5	34.9	31.8	31.3	33.3	27.3	22.0	26.5	28.9	35.5	31.9	40.9	32.3
現状のままでよい	36.4	39.1	33.7	37.2	38.7	43.2	37.9	31.7	30.1	20.7	30.9	39.1	37.3	35.4	21.2	36.9
縮小すべき	4.6	5.2	4.0	7.7	7.2	3.8	4.0	4.9	3.2	2.4	8.6	3.5	3.1	6.9	3.0	6.2
わからない	18.4	15.6	21.0	11.5	15.3	15.5	18.9	19.5	23.1	28.0	15.4	15.2	20.8	21.9	25.8	21.5
無答	9.2	8.7	9.6	5.1	3.8	5.7	7.8	10.6	16.2	26.8	18.5	13.3	3.3	3.8	9.1	3.1
(3)水面(ダムなど)																
拡大すべき	52.5	54.6	50.2	41.0	51.9	54.1	54.3	48.0	57.9	46.3	38.3	52.3	61.4	54.2	42.4	38.5
現状のままでよい	24.6	25.8	23.4	34.6	31.1	27.4	23.2	27.6	13.9	12.2	28.4	24.1	22.9	24.3	19.7	36.9
縮小すべき	1.7	2.0	1.4	2.6	1.3	1.4	2.8	1.6	0.5	1.2	2.5	0.5	2.6	1.7	1.5	6.2
わからない	12.8	10.0	15.5	16.7	11.5	11.4	12.9	13.0	13.0	17.1	13.0	10.3	11.6	16.3	25.8	15.4
無答	8.5	7.6	9.4	5.1	4.3	5.7	6.8	9.8	14.8	23.2	17.9	12.9	1.5	3.5	10.6	3.1
(4)住宅地																
拡大すべき	38.3	43.1	33.6	25.6	32.8	44.6	42.9	36.2	35.6	28.0	37.0	36.5	43.4	36.5	31.8	43.1
現状のままでよい	33.4	31.9	34.9	46.2	43.8	29.3	31.1	32.5	32.9	26.8	28.4	34.7	32.1	34.4	31.8	36.9
縮小すべき	2.8	2.8	2.7	5.1	2.1	3.3	3.3	3.7	0.5	1.2	1.9	2.7	2.8	3.8	3.0	0.0
わからない	16.5	14.3	18.6	17.9	17.0	16.3	14.9	17.1	16.2	20.7	16.0	12.3	18.0	22.6	24.2	16.9
無答	9.1	8.0	10.2	5.1	4.3	6.5	7.8	10.6	14.8	23.2	16.7	13.8	3.6	2.8	9.1	3.1
(5)工業用地																
拡大すべき	18.2	22.9	13.5	14.1	13.2	14.9	21.0	24.8	17.1	17.1	21.0	17.9	17.7	19.8	15.2	12.3
現状のままでよい	39.3	40.3	38.5	48.7	51.9	42.7	40.7	31.7	32.4	18.3	34.0	38.3	45.8	34.7	31.8	52.3
縮小すべき	8.8	9.1	8.6	10.3	10.2	12.0	7.6	8.1	6.0	4.9	6.8	9.1	8.2	11.5	6.1	6.2
わからない	24.5	19.3	29.5	21.8	21.3	24.7	23.2	23.6	28.7	34.1	21.6	20.6	25.2	30.9	37.9	26.2
無答	9.1	8.4	9.9	5.1	3.4	5.7	7.6	11.8	15.7	25.6	16.7	14.1	3.1	3.1	9.1	3.1
(6)商業用地																
拡大すべき	17.5	20.8	14.1	19.2	14.9	17.7	22.2	17.1	11.6	13.4	22.2	17.1	14.7	20.8	16.7	12.3
現状のままでよい	45.4	48.3	42.6	50.0	54.5	47.8	44.9	42.3	42.1	26.8	39.5	43.6	54.8	40.3	34.8	55.4
縮小すべき	5.5	5.0	6.0	6.4	7.2	5.4	5.1	6.5	4.6	1.2	1.9	6.5	5.1	5.9	4.5	4.6
わからない	22.1	17.3	26.7	19.2	19.6	23.6	20.2	22.0	23.6	31.7	19.1	18.2	22.1	29.5	33.3	24.6
無答	9.6	8.5	10.7	5.1	3.8	5.4	7.6	12.2	18.1	26.8	17.3	14.5	3.3	3.5	10.6	3.1
(7)ゴルフ場																
拡大すべき	1.6	1.7	1.5	0.0	1.7	1.1	2.5	1.6	1.9	0.0	1.2	1.5	0.3	3.1	1.5	4.6
現状のままでよい	23.6	26.0	21.1	29.5	26.4	31.5	18.9	18.7	24.1	11.0	20.4	23.2	26.5	19.1	28.8	33.8
縮小すべき	50.0	51.4	48.8	50.0	57.0	48.9	55.3	50.8	38.4	37.8	45.7	47.3	53.2	59.0	45.5	33.8
わからない	22.1	17.3	26.7	19.2	19.6	23.6	20.2	22.0	23.6	31.7	19.1	18.2	22.1	29.5	33.3	24.6
無答	9.6	8.5	10.7	5.1	3.8	5.4	7.6	12.2	18.1	26.8	17.3	14.5	3.3	3.5	10.6	3.1

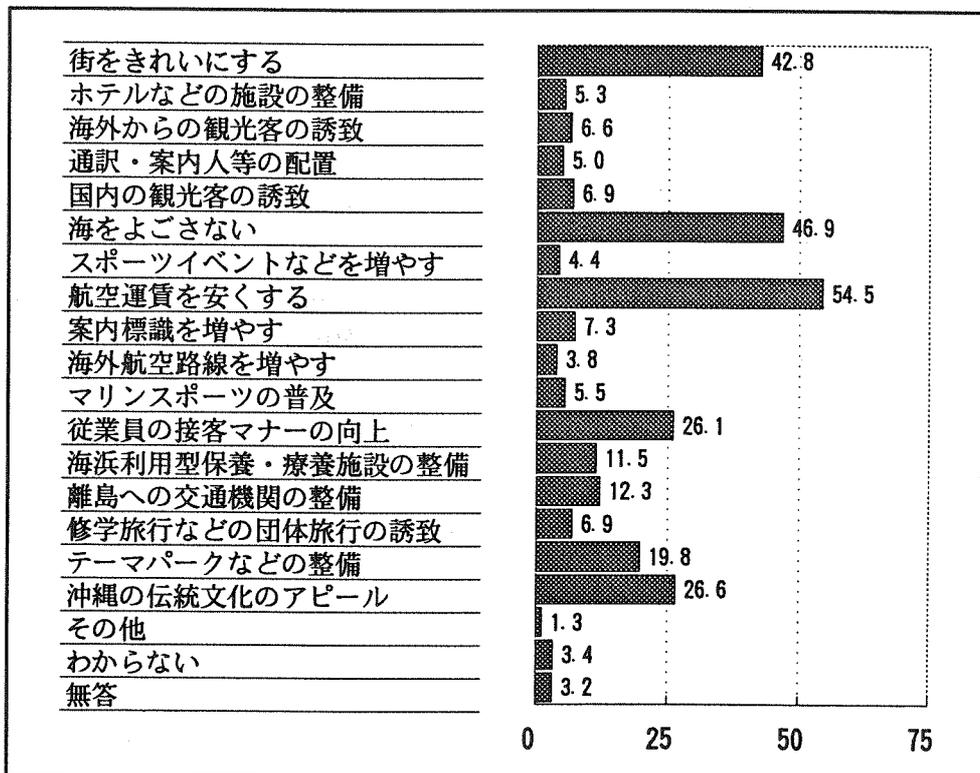
6 観光の振興

(1) 順位別にみた観光の振興方策

本県の観光の振興方策として何に力を入れるべきかについて、18の選択肢の中から3つ選んでもらった（問14）。

回答結果は図4-6-1のとおりで、「航空運賃を安くする」を挙げる割合が5割以上を占めており、交通手段の限られている離島県のハンデの軽減が、観光の振興につながるという認識の強さをうかがわせる。次いで、「海をよごさない」「街をきれいにする」などが高くなっており、沖縄が印象の良い観光地であるためには、個々人の意識の向上が必要であると捉えられている。以下、「沖縄の伝統文化のアピール」「テーマパークなどの整備」等が続いており、沖縄県のアイデンティティーも観光振興にとって重要であると認識されている。

図4-6-1 順位別にみた観光の振興方策



(2) 男女別、年齢階層別、地域別にみる観光振興の方策

次に、観光振興の方策を男女別、年齢階層別、地域別にみると(図4-6-2)、男女別では、「テーマパークなどの整備」「スポーツイベントなどを増やす」「ホテルなどの施設の整備」等の項目で、男性の方が女性をやや上回っており、ハード面の整備を観光振興の方策として捉える傾向は、比較的男性の方が強い。逆に、「沖縄の伝統文化のアピール」「従業員の接客マナーの向上」「通訳・案内人等の配置」等の項目では女性の方が回っており、女性は観光地としての沖縄のイメージを重視する傾向がみられる。

また、年齢階層別にみると、「街をきれいにする」「航空運賃を安くする」等の、観光地としての印象や利用のしやすさを改善する項目の回答割合は、年齢が上がるにつれて上昇しており、逆に、「海をよごさない」や、活動的な観光地を形成しようとする「テーマパークなどの整備」「スポーツイベントを増やす」「マリンスポーツの普及」等の項目では、若年層ほど高くなる傾向がみられる。一方、地域別にみると、「航空運賃を安くする」の割合が全体的に高くなっており、特に那覇と八重山地域で高く、八重山では、「離島への交通機関の整備」においても他の地域よりも高くなっている。また、都市部(那覇市)に近づくほど「従業員の接客マナーの向上」の割合は低くなっており、都市部で接客マナーの改善が進んできていることがうかがわれる。

図4-6-2 男女別、年齢階層別、地域別にみた観光の振興方策

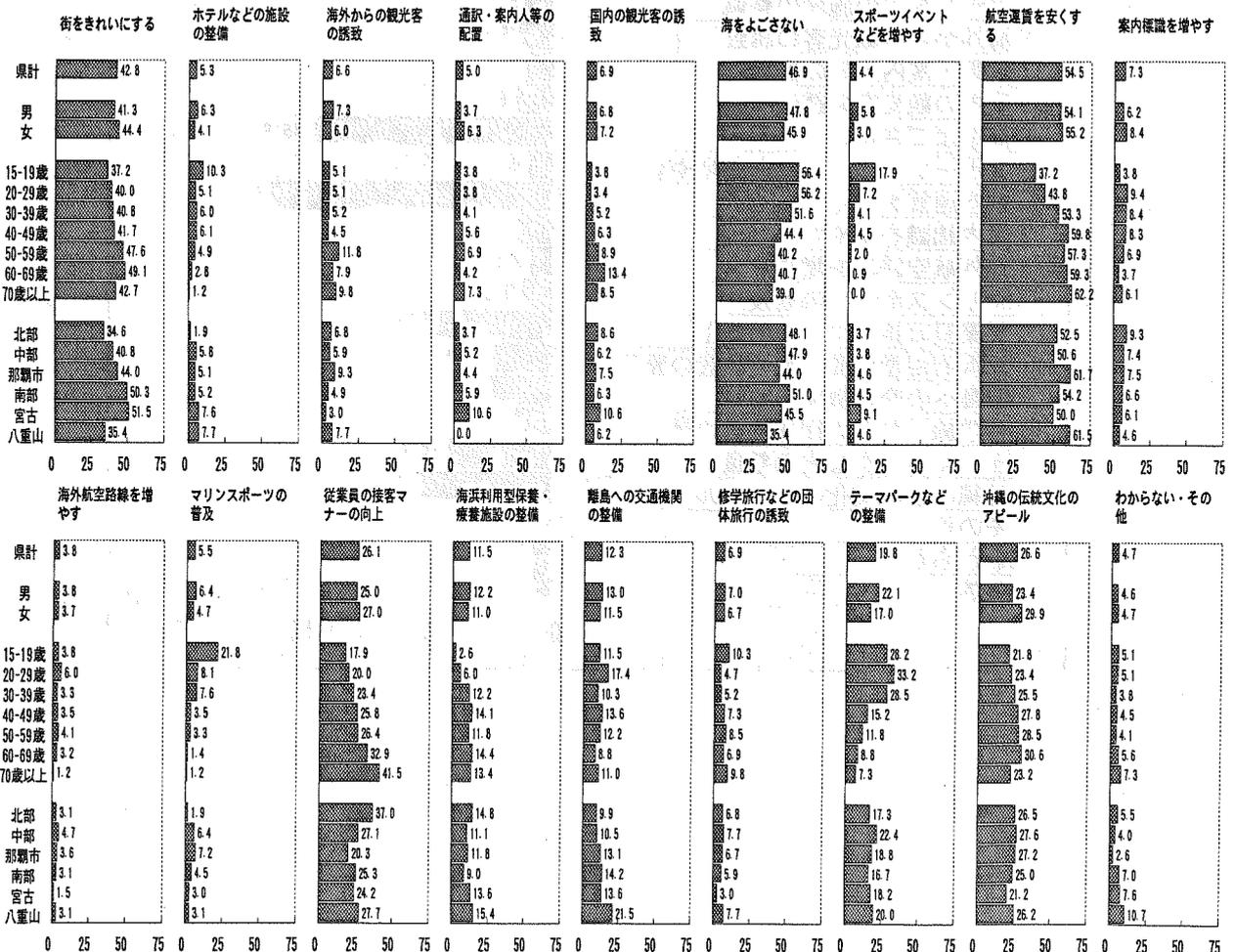


表4-6-1 県計、属性別にみた観光の振興方策の集計表

	県計	性別		年齢階級別							地域別					
		男	女	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
街をきれいにする	42.8	41.3	44.4	37.2	40.0	40.8	41.7	47.6	49.1	42.7	34.6	40.8	44.0	50.3	51.5	35.4
ホテルなどの施設の整	5.3	6.3	4.1	10.3	5.1	6.0	6.1	4.9	2.8	1.2	1.9	5.8	5.1	5.2	7.6	7.7
海外からの観光客の誘	6.6	7.3	6.0	5.1	5.1	5.2	4.5	11.8	7.9	9.8	6.8	5.9	9.3	4.9	3.0	7.7
通訳・案内人等の配置	5.0	3.7	6.3	3.8	3.8	4.1	5.6	6.9	4.2	7.3	3.7	5.2	4.4	5.9	10.6	0.0
国内の観光客の誘致	6.9	6.8	7.2	3.8	3.4	5.2	6.3	8.9	13.4	8.5	8.6	6.2	7.5	6.3	10.6	6.2
海をよこさない	46.9	47.8	45.9	56.4	56.2	51.6	44.4	40.2	40.7	39.0	48.1	47.9	44.0	51.0	45.5	35.4
スポーツイベントなど																
を増やす	4.4	5.8	3.0	17.9	7.2	4.1	4.5	2.0	0.9	0.0	3.7	3.8	4.6	4.5	9.1	4.6
航空運賃を安くする	54.5	54.1	55.2	37.2	43.8	53.3	59.8	57.3	59.3	62.2	52.5	50.6	61.7	54.2	50.0	61.5
案内標識を増やす	7.3	6.2	8.4	3.8	9.4	8.4	8.3	6.9	3.7	6.1	9.3	7.4	7.5	6.6	6.1	4.6
海外航空路線を増やす	3.8	3.8	3.7	3.8	6.0	3.3	3.5	4.1	3.2	1.2	3.1	4.7	3.6	3.1	1.5	3.1
マリンスポーツの普及	5.5	6.4	4.7	21.8	8.1	7.6	3.5	3.3	1.4	1.2	1.9	6.4	7.2	4.5	3.0	3.1
従業員の接客マナーの																
向上	26.1	25.0	27.0	17.9	20.0	23.4	25.8	26.4	32.9	41.5	37.0	27.1	20.3	25.3	24.2	27.7
海浜利用型保養・療養																
施設の整備	11.5	12.2	11.0	2.6	6.0	12.2	14.1	11.8	14.4	13.4	14.8	11.1	11.8	9.0	13.6	15.4
離島への交通機関の整	12.3	13.0	11.5	11.5	17.4	10.3	13.6	12.2	8.8	11.0	9.9	10.5	13.1	14.2	13.6	21.5
修学旅行などの団体旅																
行の誘致	6.9	7.0	6.7	10.3	4.7	5.2	7.3	8.5	6.9	9.8	6.8	7.7	6.7	5.9	3.0	7.7
テーマパークなどの整	19.8	22.1	17.0	28.2	33.2	28.5	15.2	11.8	8.8	7.3	17.3	22.4	18.8	16.7	18.2	20.0
沖縄の伝統文化のア																
ピール	26.6	23.4	29.9	21.8	23.4	25.5	27.8	28.5	30.6	23.2	26.5	27.6	27.2	25.0	21.2	26.2
その他	1.3	1.7	0.9	1.3	2.6	1.4	1.5	0.8	0.5	0.0	1.2	1.4	0.8	2.1	0.0	1.5
わからない	3.4	2.8	3.8	3.8	2.6	2.4	3.0	3.3	5.1	7.3	4.3	2.6	1.8	4.9	7.6	9.2
無答	3.2	3.3	3.1	1.3	2.1	1.6	3.3	2.8	5.6	7.3	8.0	4.9	0.6	0.4	0.1	1.5

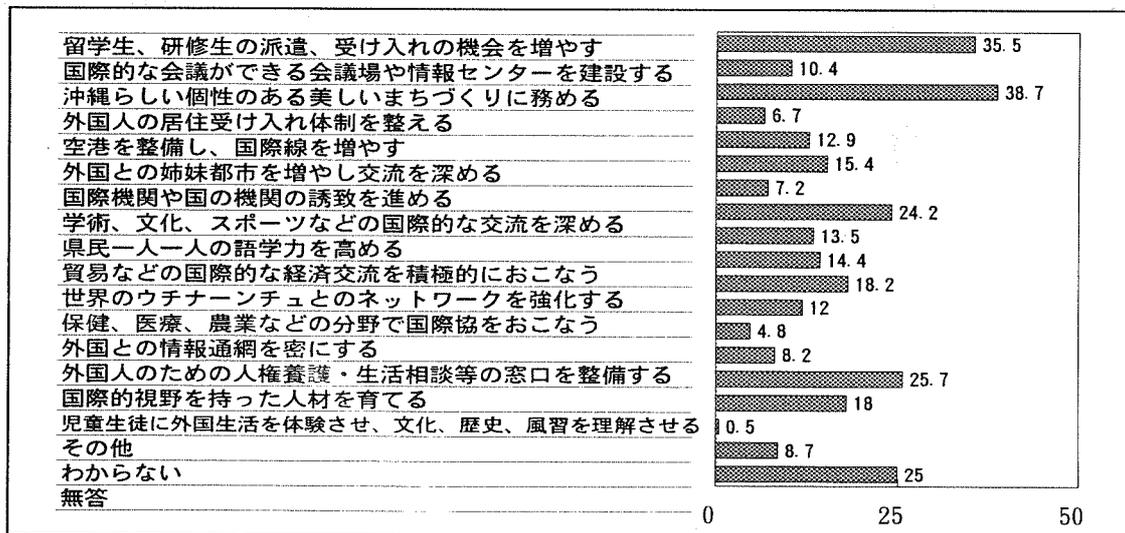
7 国際化への対応

(1) 順位別にみた国際化への対応

国際化に向けてどのようなことに力を入れるべきかについて、17の選択肢のなかから3つ選んでもらった(問15)。

回答結果は図4-7-1のとおりで、「沖縄らしい美しいまちづくり」を挙げる割合が38.7%と最も高く、以下、「留学生等の派遣、受け入れの機会を増やす」35.5%、「国際的視野を持った人材の育成」25.7%、「学術、文化、スポーツ交流等の推進」24.2%、「世界のウチナンチュとのネットワーク強化」18.2%の順となっている。

図4-7-1 順位別にみた国際化への対応



(2) 男女別、年齢階層別、地域別にみた国際化への対応

次に、国際化への対応を男女別、年齢階層別、地域別にみると（図4-7-2）、男女別では、「沖縄らしい美しいまちづくり」「空港を整備し、国際線を増やす」「国際機関等の誘致」「学術、文化、スポーツ交流等の推進」などの回答割合は男性の方が高くなっており、特に、「空港を整備し、国際線を増やす」で差が大きく、男性が6.0ポイント上回っている。逆に、女性の方が高くなっているのは、「外国人の居住受け入れ体制の整備」「県民の語学力の向上」「児童生徒の外国生活体験」などで、総じて、男性はハード面を、女性はソフト面を重視しているといえよう。

また、年齢階層別にみると、「留学生等の派遣、受け入れの機会を増やす」「空港を整備し、国際線を増やす」「学術、文化、スポーツ交流等の推進」などは、若年層ほど回答割合が高くなる傾向がみられる。また、「国際的視野を持った人材の育成」「児童生徒の外国生活体験」などに対する回答割合は、親世代であると思われる30～40歳代で高くなっている。

一方、地域別にみると、「沖縄らしい美しいまちづくり」に対する回答割合は、南部と宮古地域で高くなっており、「空港を整備し、国際線を増やす」については、那覇と南部、八重山地域で高くなっている。また、「学術、文化、スポーツ交流等の推進」については那覇市で、「世界のウチナーンチュとのネットワーク強化」については北部地域で高くなっている。さらに、「国際協力」については、南部と宮古地域が高く、「国際的視野を持った人材の育成」については、那覇と宮古で、「児童生徒の外国生活体験」については、宮古、八重山地域で高くなっている。

図4-7-2 男女別、年齢階層別、地域別にみた国際化への対応

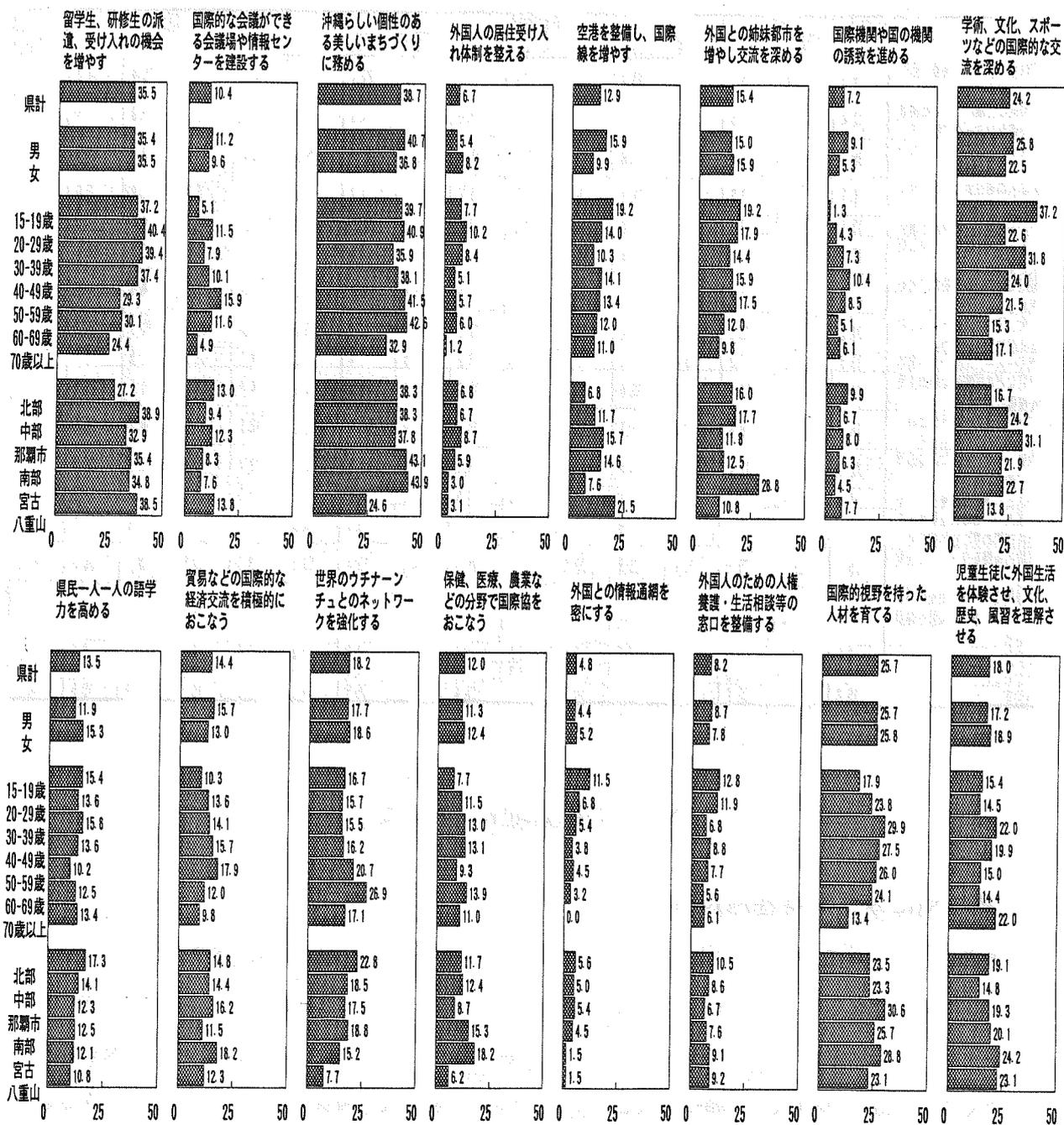


表4-7-1 県計、属性別にみた国際化への対応の集計表

	県計	性別		年齢階級別							地域別					
		男	女	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
留学生、研修生の派遣、受け入れの機会を増やす	35.5	35.4	35.5	37.2	40.4	39.4	37.4	29.3	30.1	24.4	27.2	38.9	32.9	35.4	34.8	38.5
国際的な会議ができる会議場や情報センターを建設する	10.4	11.2	9.6	5.1	11.5	7.9	10.1	15.9	11.6	4.9	13.0	9.4	12.3	8.3	7.6	13.8
沖縄らしい個性のある美しいまちづくりに務める	38.7	40.7	36.8	39.7	40.9	35.9	38.1	41.5	42.6	32.9	38.3	38.3	37.8	43.1	43.9	24.6
外国人の居住受け入れ体制を整える	6.7	5.4	8.2	7.7	10.2	8.4	5.1	5.7	6.0	1.2	6.8	6.7	8.7	5.9	3.0	3.1
空港を整備し、国際線を増や外国との姉妹都市を増やし交流を深める	12.9	15.9	9.9	19.2	14.0	10.3	14.1	13.4	12.0	11.0	6.8	11.7	15.7	14.6	7.6	21.5
国際機関や国の機関の誘致を進める	7.2	9.1	5.3	1.3	4.3	7.3	10.4	8.5	5.1	6.1	9.9	6.7	8.0	6.3	4.5	7.7
学術、文化、スポーツなどの国際的な交流を深める	24.2	25.8	22.5	37.2	22.6	31.8	24.0	21.5	15.3	17.1	16.7	24.2	31.1	21.9	22.7	13.8
県民一人一人の語学力を高め貿易などの国際的な経済交流を積極的におこなう	13.5	11.9	15.3	15.4	13.6	15.8	13.6	10.2	12.5	13.4	17.3	14.1	12.3	12.5	12.1	10.8
世界のウチナンチュとのネットワークを強化する	18.2	17.7	18.6	16.7	15.7	15.5	16.2	20.7	26.9	17.1	22.8	18.5	17.5	18.8	15.2	7.7
保健、医療、農業などの分野で国際協をおこなう	12.0	11.3	12.4	7.7	11.5	13.0	13.1	9.3	13.9	11.0	11.7	12.4	8.7	15.3	18.2	6.2
外国人のための人権保護・生活相談等の窓口を整備する	4.8	4.4	5.2	11.5	6.8	5.4	3.8	4.5	3.2	0.0	5.6	5.0	5.4	4.5	1.5	1.5
国際的視野を持った人材を育てる	25.7	25.7	25.8	17.9	23.8	29.9	27.5	26.0	24.1	13.4	23.5	23.3	30.6	25.7	28.8	23.1
児童生徒に外国生活を体験させ、文化、歴史、風習を理解させる	18.0	17.2	18.9	15.4	14.5	22.0	19.9	15.0	14.4	22.0	19.1	14.8	19.3	20.1	24.2	23.1
その他	0.5	0.5	0.5	1.3	0.9	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.6	0.6	0.3	0.3	0.0	1.5
わからない	8.7	7.0	10.0	6.4	7.7	6.8	6.3	8.9	12.0	24.4	5.6	6.1	8.2	12.8	9.1	26.2
無回答	25.0	21.2	28.8	17.9	18.3	14.7	19.4	26.4	40.3	75.6	34.0	28.5	16.5	22.9	10.6	44.6

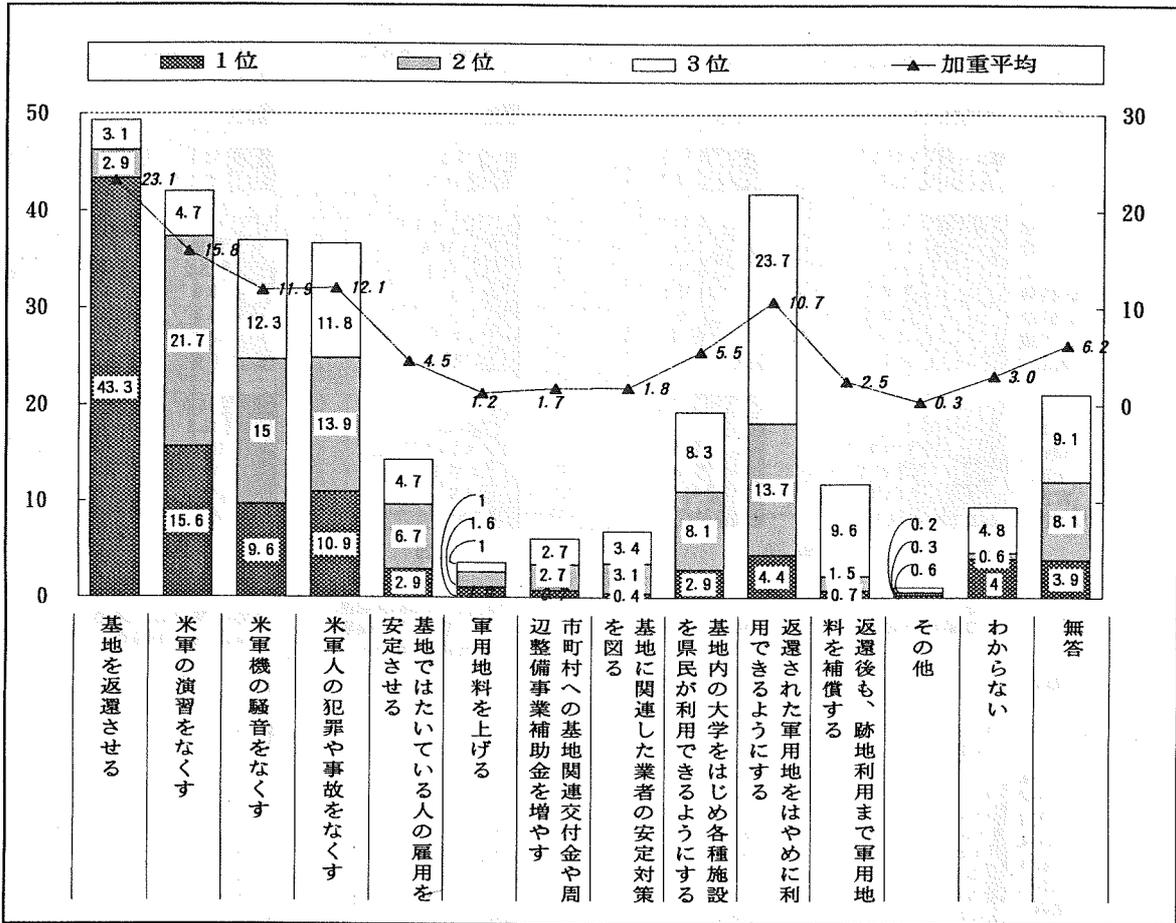
8 米軍基地について

(1) 順位別にみた米軍基地対策

米軍基地について、県や国にとくに力を入れてほしいものについて12の選択肢のなかから順位をつけて3つ選んでもらった(問16)。回答割合について、1位に3点、2位に2点、3位に1点をのウェイトを与えて、加重平均値でみると、「基地を返還させる」が23.1と最も高く、次いで「米軍の演習をなくす」15.8、「米軍人の犯罪や事故をなくす」12.1、「米軍機の騒音をなくす」11.9、「返還された軍用地を早めに利用できるようにする」10.7等が続いている(図4-8-1)。

特に、「基地を返還させる」については、1番目に選択された割合も43.3%と高く、県民の多くが強く望んでいることがわかる。また、「返還された軍用地を早めに利用できるようにする」は、2番目や3番目に選択される割合が高く、県民に強く望まれている項目ではないものの、多くの人々が力を入れてほしいと望む、2次的なニーズとしての性格の強い項目となっている。

図4-8-1 順位別にみた米軍基地対策



(2) 男女別、年齢階層別、地域別にみた米軍基地対策

次に、米軍基地に対する意識を、男女別、年齢階層別、地域別加重平均でみると（図4-8-2）、男女別では、「基地を返還させる」で1.7ポイント、「返還された軍用地を早めに利用できるようにする」で1.2ポイント男性の方が上回っており、逆に、「米軍機の騒音をなくす」で女性の方が男性を2.5ポイント上回っている以外は、男女差は1ポイント以内に収まっており、その差はほとんどないといえる。

また、年齢階層別にみると、「基地を返還させる」「返還された軍用地を早めに利用できるようにする」等を重視しているのは中年層に多く、返還とその跡地利用に対する関心の高さを示している。また、「米軍機の騒音をなくす」「基地内の大学をはじめ各種施設を県民が利用できるようにする」などについては、若年層のニーズが高くなっている。

一方、地域別にみると、「基地を返還させる」については、南部地域で最も高く、北部地域で低くなっており、「米軍人の犯罪や事故をなくす」については、本島内において、都市部（那覇市）から離れるに従いその要求が強まる傾向がみられる。また、「基地内の大学をはじめ各種施設を県民が利用できるようにする」「返還された軍用地を早めに利用できるようにする」などについては、過密な都市部でそのニーズが高くなっている。

以上、米軍基地に対する意識についてみてきたが、各属性間の差異は、本章の他の振興方策等に比較して総じて小さく、県民の意識がほぼ一致していることがうかがわれる。

図4-8-2 男女別、年齢階層別、地域別加重平均でみた米軍基地対策

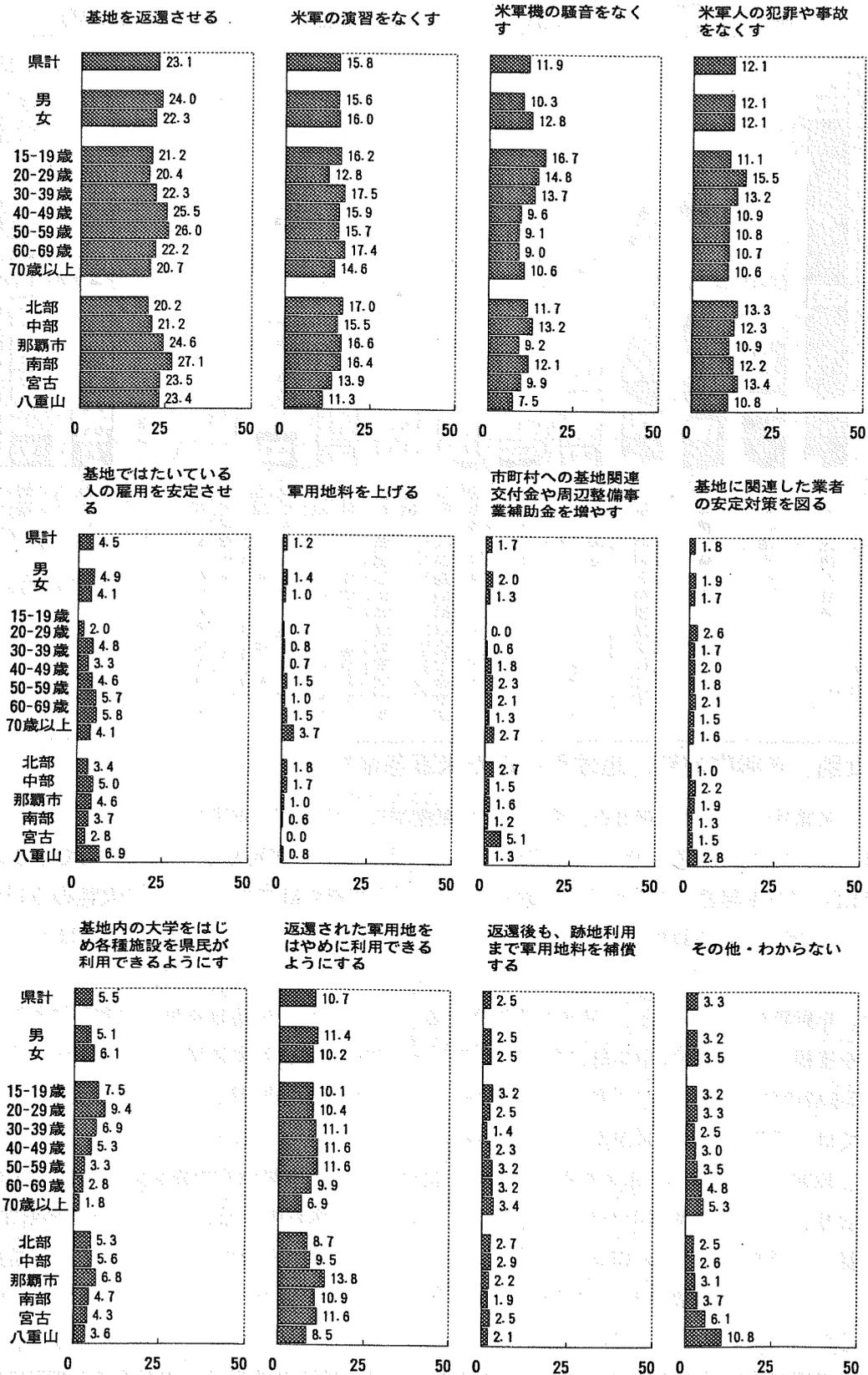


表 4-8-1 県計、属性別にみた米軍基地への対応の集計表

	県計				性別加重平均		年齢階級別加重平均							地域別加重平均					
	1位	2位	3位	加重平均	男	女	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
基地を返還させる	43.3	2.9	3.1	23.1	24.0	22.3	21.2	20.4	22.3	23.5	26.0	22.2	20.7	20.2	21.2	24.6	27.1	23.5	23.4
米軍の演習をなくす	15.6	21.7	4.7	15.8	15.6	16.0	16.2	12.8	17.5	15.9	15.7	17.4	14.6	17.0	15.5	16.6	16.4	13.9	11.3
米軍機の騒音をなくす	9.6	15.0	12.3	11.9	10.3	12.8	16.7	14.8	13.7	9.6	9.1	9.0	10.6	11.7	13.2	9.2	12.1	9.9	7.5
米軍人の犯罪や事故をなくす	10.9	13.9	11.8	12.1	12.1	12.1	11.1	15.5	13.2	10.9	10.8	10.7	10.6	13.3	12.3	10.9	12.2	13.4	10.8
基地ではたいている人の雇用に安定させる	2.9	6.7	4.7	4.5	4.9	4.1	2.0	4.8	3.3	4.6	5.7	5.8	4.1	3.4	5.0	4.6	3.7	2.8	6.9
軍用地料を上げる	1.0	1.6	1.0	1.2	1.4	1.0	0.7	0.8	0.7	1.5	1.0	1.5	3.7	1.8	1.7	1.0	0.6	0.0	0.8
市町村への基地関連交付金や周辺整備事業補助金を増やす	0.7	2.7	2.7	1.7	2.0	1.3	0.0	0.6	1.8	2.3	2.1	1.3	2.7	2.7	1.5	1.6	1.2	5.1	1.3
基地に関連した業者の安定対策を図る	0.4	3.1	3.4	1.8	1.9	1.7	2.6	1.7	2.0	1.8	2.1	1.5	1.6	1.0	2.2	1.9	1.3	1.5	2.8
基地内の大学をはじめ各種施設を県民が利用できるようにする	2.9	8.1	8.3	5.5	5.1	6.1	7.5	9.4	6.9	5.3	3.3	2.8	1.8	5.3	5.6	6.8	4.7	4.3	3.6
返還された軍用地をばやめに利用できるようにする	4.4	13.7	23.7	10.7	11.4	10.2	10.1	10.4	11.1	11.6	11.6	9.9	6.9	8.7	9.5	13.8	10.9	11.6	8.5
返還後も、跡地利用まで軍用地料を補償する	0.7	1.5	9.6	2.5	2.5	2.5	3.2	2.5	1.4	2.3	3.2	3.2	3.4	2.7	2.9	2.2	1.9	2.5	2.1
その他	0.2	0.3	0.6	0.3	0.5	0.2	0.4	0.7	0.2	0.5	0.3	0.0	0.2	0.3	0.6	0.0	0.2	0.0	0.5
わからない	4.0	0.6	4.8	3.0	2.7	3.3	2.8	2.6	2.3	2.6	3.1	4.8	5.1	2.2	2.1	3.1	3.5	6.1	10.3
無答	3.9	8.1	9.1	6.2	5.6	6.6	5.8	3.3	3.9	5.9	6.2	10.1	14.1	10.0	7.0	3.9	4.3	5.6	10.5